

教員のストと査定別昇給制度の対応は



北教組が1月30日に道教委が4月からの導入を目指す教職員の査定昇給制度に反対し、各学校で1時間の時限ストを決定した。児童・生徒に対し、授業や部活動などの影響が懸念される。教育委員会の役割と対応について伺う。

①参加小中学校と参加率、非組合員の参加あったか。何時から何時のストをどこで。

②児童・生徒の授業や部活動に影響は。

③教員の業務に支障をきたしていないのか。

④教育委員会はこの度のストをどう捉えているか。

⑤査定昇給制度と委員会の対応を伺う。

教育長

①町内全ての小中学校で実施され、参加率は73.2%、参加者全員が北海道教職員組合に所属している教職員であり、非組合員の参加はなかった。

学校により勤務時間により、時間帯は多少異なるが、終業前1時間のストライキという状況である。会場は幕別中央会館である。

②小学校では管理職やストライキに参加していない教職員が対応し平常どおり授業を実施した。中学校では毎週、事前にカリキュラムを編成しており、結果として5時間授業を編成したところがあった。部活動については通常どおり実施した学校もあったが、実施しない学校もあった。

③ストライキ時間中は支障があったと認識している。結果、2月の給料から1時間相当分の給料の減額が実施された。

④ストライキ等の争議行為は、地方公務員法で禁止されており、ストライキに参加したことは極めて遺憾である。北海道教育委員会に対し、厳正な処分を行うよう求めた。町内の教職員に

は、今後次代を担う子ども達の未来のため、全力を挙げて職務を遂行するよう強く切望する。

⑤査定昇給制度は、国の人事院や、北海道の人事委員会が勧告がなされ、年功的な給与上昇の抑制、職責に応じた俸給構造への転換、勤務実績の給与への反映な

パークゴルフ場の管理と利用は



もうじきパークゴルフアターの熱きシーズンを迎える。パークゴルフ発祥の地として、管理やプレーヤーのマナーは他に範となるものでなくてはならない。パークゴルフのセントアンドリュースを目指し、パークゴルフ場の管理と利用について伺う。

①パークゴルフ場の管理について。

②マナー向上について。

③町民限定の日を作れないか。

④ナイタープレーの利用について。

⑤若年層への普及対策は。

⑥全国に広めた名前をいかに経済発展につなげて行く

どを柱に実施するものであり、職員個々の勤務実績等に応じた給与を確保することにより、職員の士気向上を図り、組織の活性化に資するものと理解しており、適正な手続きのもとで取り進めたいと考える。

町長

①パークゴルフ場の管理業務は、毎週1回の閉鎖日に行なう芝刈りが年25回、清掃事業が年27回のほか、年3回の肥料散布などである。今後も、芝の補修や低木の補植など、良好な環境に努め、プレーヤーの皆さんが楽しめるよう、日常管理を行いたい。

②排除的な扱いや嫌がらせ等、マナー等が十分に理解されていない状況があり憂慮すべき問題である。これらのマナーの悪さは普及の妨げの一因になり大変残念である。国際パークゴルフ協会では、各種講習会でマ

ナー等についてのプログラムの充実を図っており、町としても、パークゴルフ発祥の地として、コミュニケーションスポーツとしてのパークゴルフの原点をしっかりと伝えていきたい。

③コミュニケーションとしての性格や、発祥の地としてその普及を進めていることを考慮すると、結果的に他の市町村の愛好者を排除することは好ましくないと考える。

④町内4コースにナイター設備を設置している。昨年の夜間照明点灯期間は6月16日から8月19日までの65日間である。

⑤若い世代、特に子どもたちへの普及については、体験してもらうことを重点に普及を図っている。今後も国際協会や関係団体などと連携し、若い世代、特に子どもたちへ普及をしたい。

⑥全国的にパークゴルフ発祥の地という認識が広まっております。今後も一層の振興に努め、企業誘致や移住促進、観光の振興等、知名度を前面的にアピールし、町づくりに取り組みたい。